

大学の“縁の下”で、学びを支える仕事

私は令和6年4月に採用され、学術情報基盤図書館（通称：メディアの森）で働いています。配属は学術情報課図書館サービス係です。主な職務内容は、図書の整備やレファレンス対応、学習支援の環境づくりなど、業務は多岐にわたります。

近年の大学図書館は、単なる本の貸し出しの場ではなく、アクティブラーニングやグループ学習の拠点、ICTを活用した情報リテラシー教育の場へと進化しています。学生や教職員の「知りたい」「学びたい」という思いを支える、やりがいのある仕事です。日々、学生の成長に触れ、感謝の言葉をいただくこともあり、「この仕事をしていてよかった」と感じます。

大学は教育・研究の最前線であり、職員も学び続けることが求められますが、それが刺激でもあり魅力です。職場は助け合いの雰囲気があり、子育て中の私も安心して働いています。知を支える存在として、皆さんと一緒に高知大学を盛り上げられる日を楽しみにしています。

